

## 就実高校生の自然災害対策活動 ～小学校教育への反映・共同作業学習～

石田 省三 (就実高等学校)

### A Joint observation and illustration of Typhoon Disaster by Shujitsu High school girls and primary school boys and girls

Shozo ISHIDA (Shujitsu High school)

#### 抄 録

就実高校生徒は、死者145人、負傷者348人、倒壊家屋4,560棟という未曾有の災害をもたらした1934（昭和9）年の室戸台風を中心に調査、共同学習をした。生徒達の洪水痕跡発見の努力は、岡山市立三軒小学校、玉野市立田井小学校生徒の参加を促し、得難い共同学習となった。就実高の生徒達は小学校生徒と洪水痕跡発見の喜びを分かち合い、さらに洪水標識の設置、防災地図作製などの共同学習へと進んだ。

災害は忘れた頃にやってくるといわれている。岡山地方は、2004（平成16）年に台風被害にあった。今年2008（平成20）年にはまた猛威を振るった。室戸台風から74年目である。加うるに、地球の温暖化、海水準上昇が広く憂慮されているところである。若い高校生、幼い小学生が防災を身近なテーマとして関心を高めていったことは意義深い。

キーワード：例証，面接調査要項，海水準，地球温暖化